

定例公安委員会の開催状況について

令和2年10月22日（木）に、第30回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 11月の行事予定

11月の行事予定について報告があった。

2 令和2年9月末の特殊詐欺被害状況及び被害防止対策について

令和2年9月末の特殊詐欺の実態、多発する手口の被害状況及び被害防止対策について報告があった。

委員のコメント

- 高齢者被害防止のためには、キャッシュカードを受け取りにくる訪問者に対してどう対応するかを啓発していけば良いと思う。また、架空請求詐欺では50代から60代の男性で半数以上を占めているので、心理学や社会学の知見を取り入れながら騙されないための啓発をしてもらおうと、より効果が上がると思う。
- 新型コロナウイルスの影響で、犯人が新幹線を使用して地方に来るのが難しくなった可能性があるが、認知件数が減少しているのは喜ばしい。高齢者対象の巡回連絡の効果もあったのだと思う。
- 巡回連絡の効果は大きいと思う。現場の警察官が地域の実情を知るためにも巡回連絡は必要だと思う。今後は架空請求詐欺が増えていくと思うので、50代や60代の財力があってサイトもそれなりに閲覧する男性に対し、「狙われている」という自覚を促さなければならないと思う。これまでの施策は効果が上がっていると思うので、継続してほしい。

3 「交通安全ありがとう運動」の実施について

横断歩行者保護意識の更なる浸透と交通安全意識の高揚を目的として、歩行者が横断歩道で停止したドライバーにお辞儀や手振りなどの動作で謝意を伝える「交通安全ありがとう運動」を県内全域で展開する旨の報告があった。

委員のコメント

- この運動が浸透すれば、山形県の交通マナーが文化として育っていくと思う。ただし、横断歩道で歩行者を渡すため停車している車を追い抜こうとして事故につながる懸念があるので、併せて啓発してほしい。事故が起きた交差点については、ソーラーパネル付きの看板を設置して交通事故防止を呼び掛ければ良いと思う。

- 「車優先」という県民の考えを「人が優先」という意識に変える取組であり、JAFの調査でも停止率が上がっているようなので、更に浸透させてほしい。警察が中心となるにしても、教育委員会や議会などにもPRして、今後も強力で推進してほしい。
- 子供たちには「車を止める」という意識を持たせてほしい。「ありがとう」ということについては、もともと歩行者優先であるのに丁寧になり過ぎの感もあるが、効果を上げるためにはやむを得ない。それと、横断歩道の標示が消えかかっている場所も相当数あるので、必要性を踏まえて塗り直すかどうかを検討してほしい。

4 交通機動隊による警察署支援の取組結果(四半期報告)及びホワイトナイト作戦2020の実施結果について

交通機動隊による警察署支援の取組結果(四半期報告)及びホワイトナイト作戦2020の実施結果について報告があった。

委員のコメント

- 事故の発生が減ったということの評価したい。今後も集中的な活動をして、白バイの姿を見せることで抑止効果を高めてもらいたい。
- 白バイを投入した地域は、県全体よりも事故発生の減少率が高いので、効果があったと思う。あおり運転の取締りについては、ノウハウを蓄積する必要があると思うので、経験を重ねてほしい。
- 幼稚園で白バイを見て子供たちが喜んだという記事を見たが、是非、いろいろなところに派遣してほしい。これまで白バイは幹線道路を中心に運用していたかもしれないが、街中を走ることも大事かと思う。白バイが横断歩道の前でピタッと止まると、他の車への意識付けにもなる。

5 「令和2年度SOLAS総合訓練」について

酒田港内において不測の事態が発生した場合に備え、酒田港保安委員会関係機関が、「事案の正確な把握と情報の伝達、不審船の追跡及び不審者の身柄確保等」に係る一連の訓練を実施した旨の報告があった。

委員のコメント

- 定期的に関係機関との訓練を行って、港の安全を図ってほしい。
- 酒田海上保安部との連携に十分配慮してほしい。
- 訓練場所付近には、現在、多数のコンテナがあり密航等も考えられるので、いろいろな機関と訓練を行ってほしい。